

今月は、「ポジティブ・オフ運動」と題し、これに関するコラムや、その他ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や調査結果、最新の動き等についてお送りします。

.....

(目次)

《コラム》

「ポジティブ・オフ運動」

国土交通省 観光庁 観光地域振興部観光資源課

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●雇用関係助成金を利用しやすいよう見直しました～ウェブページも見やすくリニューアル～【厚生労働省】

《企業事例紹介》

●「カエルの星」認定チームの紹介【内閣府】

《最新情報》

●お知らせ

・ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策評価＜評価の結果及び勧告＞【総務省】(2013年6月) 他

●地方公共団体等の動き

・ワークライフバランス推進助成金を申請受付中【東京都】(2013年7月) 他

●イベント (開催日順に掲載)

・「家事チャレンジイベント」を開催【主催：福井県】 他

《統計・調査トピックス》

●子ども・子育てに関する調査【日本労働組合総連合会】(2013年6月) 他

.....

《コラム》

「ポジティブ・オフ運動」

国土交通省 観光庁 観光地域振興部観光資源課

2011年から実施の「ポジティブ・オフ運動」の取組経緯

2011年の東日本大震災を機に、人々がライフスタイルを見直す気運が高まりました。しかしながら日本の有給休暇取得率は各国に比べても非常に低い状況にあり、この有給休暇の取得促進はワーク・ライフ・バランスの実現といった意味でも、外出・旅行を通じた経済活性化に貢献する意味でも重要であるとの認識から、休暇の取得しやすい職場環境の

整備を行うため、当運動をスタートしました。

「個人」「企業等」「社会・経済」の三者にメリットある「ポジティブ・オフ」運動とは
本運動は、オフ（休暇や勤務終了後の時間）をポジティブ（前向き）にとらえ、有意義に過ごすことにより、ワーク・ライフ・バランスの改善や休暇を楽しむ豊かなライフスタイルの実現を目的に企業・団体に休暇を取得しやすい職場環境を整える運動です。
そして、オフが起点となって、個人、企業、社会・経済の3つを取り持ち、それぞれにプラスとなる好循環を生み出す取組でもあります。

本運動は観光庁が提唱し、内閣府、厚生労働省、経済産業省が共同提唱して、推進しています。

「ポジティブ・オフ運動」成果と今後の展望

本運動は今月で2周年を迎え、賛同企業・団体数も300を超えています。そこで観光庁では、これまでの取組を踏まえ、“会社と社員を輝かせる「ポジティブ・オフ」～企業における取組ポイント&事例集～”を作成しました。

今後、本冊子が少しでも多くの企業で活用され、企業における休暇取得促進に向けた理解の一助となるよう各業界団体及び各企業に対する周知を積極的に行ってまいります。

ワーク・ライフ・バランスを企業の経営戦略として取組む上で参考となる情報およびワーク・ライフ・バランスの推進、実現に向けて

今や休暇は、ビジネスパーソンや新卒者が会社を評価する際の主要な項目となっています。休暇取得に積極的な企業は、健康で活気があり、創造的で、競争力がある企業というイメージを与え、企業価値を高めています。個人の人生を豊かにし、企業価値も高める「休暇」を今一度、見つめ直してみませんか。

「ポジティブ・オフ」運動

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/>

会社と社員を輝かせる「ポジティブ・オフ」～企業における取組ポイント&事例集～

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000187.html

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●雇用関係助成金を利用しやすいよう見直しました～ウェブページも見やすくリニューアル～【厚生労働省】

厚生労働省では、雇用関係助成金について、事業主の皆さまがより利用しやすい制度に

なるよう見直しを行いました。

雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立支援、従業員の能力向上などに、ぜひ、ご利用ください。

・事業主の方のための雇用関係助成金

⇒

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/index.html

・「雇用関係助成金」検索表

⇒

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/kensaku_hyou/

・従業員雇用のルールや支援策

⇒

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/index.html

.....

《企業事例紹介》

●「カエルの星」認定チームの紹介【内閣府】

内閣府では、企業や団体内の部・課・班・チームなどの単位で働き方を変えて「長時間労働の縮減」や「年次有給休暇の取得促進」といった成果をあげた好事例を「カエルの星」と認定しています。第1回「カエルの星」には6チームが認定されました。

⇒ http://www.cao.go.jp/wlb/change_jpn/kcert/pdf/kcert01.pdf

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

・ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策評価＜評価の結果及び勧告＞【総務省】(2013年6月)

総務省は、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策について、総体としてどの程度効果を上げているかなどの総合的な観点から、政策評価を初めて実施し、関係府省に対し勧告を実施しました。14指標のうち11指標が改善、そのうち1指標が数値目標の水準に達していること等から、「一定の効果あり」としています。

⇒ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/75538.html

・家族や地域の大切さに関する作品を募集【内閣府】(2013年7月)

内閣府では、平成 19 年度から 11 月第 3 日曜日を「家族の日」及びその前後各 1 週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として家庭や地域の大切さ等について理解促進を図っています。(今年度の「家族の日」は 11 月 17 日、「家族の週間」は 11 月 10 日～23 日) この「家族の日」「家族の週間」の事業の一環として、家族や地域の大切さに関する「写真」及び「手紙・メール」を公募し、優秀な作品を表彰します。(応募期間：平成 25 年 7 月 1 日～9 月 9 日)

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/kazoku/contest/h25/youkou.html>

・「平成 24 年度雇用均等基本調査」結果を公表【厚生労働省】(2013 年 7 月)

厚生労働省では、このほど「平成 24 年度雇用均等基本調査」の結果を取りまとめ、公表しました。結果のポイントとしては、

- ・「ポジティブ・アクション」に取り組んでいる企業の割合は 32.5%で、0.8 ポイント上昇。
- ・育児休業取得者割合は、女性は、今回 83.6%で、前年度比 4.2 ポイント低下。男性は、同 1.89%で、0.74 ポイント低下。

等となっています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-24.html>

・「イクメン企業アワード」を創設【厚生労働省】(2013 年 7 月)

働きながら安心して子どもを産み育てることができる労働環境の整備を推進するため、男性の育児参加を積極的に促進しつつ、業務改善を図る企業を表彰します。(応募締切：平成 25 年 9 月 6 日)

⇒ http://www.ikumen-project.jp/ikumen_award.html

・「第 14 回テレワーク推進賞」開催【一般社団法人日本テレワーク協会】(2013 年 6 月)

今年度もテレワークのさらなる普及促進活動の一環として、「第 14 回テレワーク推進賞」を開催します。(募集期間：2013 年 7 月 10 日～10 月 10 日)

⇒ <http://www.japan-telework.or.jp/topics/42.html>

・第 7 回「ワーク・ライフ・バランス大賞」募集【ワーク・ライフ・バランス推進会議(事務局：公益財団法人日本生産性本部)】(2013 年 7 月)

企業・労働組合などのワーク・ライフ・バランスを推進する先進的・積極的な活動を表彰し、各界の取組みを活発にすることを目的に実施します。締切は 9 月 18 日、表彰式は 11 月 19 日予定。

⇒ <http://activity.jpc-net.jp/detail/lrw/activity001382.html>

・「成長戦略の基盤はワーク・ライフ・バランス」アピール発表【ワーク・ライフ・バラン

ス推進会議（事務局：公益財団法人日本生産性本部）】（2013年7月）

今般、政府から新たな成長戦略が示され、その実現には、生産性向上の観点に立って、人々の意欲と向上が求められると同時に、ワーク・ライフ・バランスの実現が不可欠です。そこで、当会議では、ワーク・ライフ・バランスの新たな展開に向けて、アピール「成長戦略の基盤はワーク・ライフ・バランス」を発表、下記3点について提言しました。

1. 制度導入による推進から意識・行動改革の段階へ
2. 生産性の向上、能力開発、ワーク・ライフ・バランスの好循環を
3. 多様な人材が柔軟に働ける企業・職場づくりを

⇒ <http://activity.jpc-net.jp/detail/lrw/activity001383.html>

・平成25年度「ダイバーシティ経営企業100選」企業募集【経済産業省】（2013年7月）

経済産業省では、女性、外国人、高齢者、障がい者など多様な人材を活かす「ダイバーシティ経営」によって企業価値向上を果たした企業を募集しています。「優れたダイバーシティ経営企業」として選定された企業は、その取組内容がベストプラクティス集に掲載され書籍として刊行されるほか、来年3月の表彰式（平成26年3月3日開催予定）での公表や、新聞、雑誌など各種メディアからの取材などを通じて広く発信され、優秀な人材獲得につながることも期待されます。（応募締切：平成25年9月11日17時）

⇒ <http://www.diversity100sen.go.jp/>

・「短時間勤務制度利用者の円滑なキャリア形成に関する提言」【東京大学社会科学研究所ワーク・ライフ・バランス推進・研究プロジェクト】（2013年7月）

近年、育児休業・短時間勤務制度等の両立支援制度を連続的に利用して、出産後も就業継続する女性が増加した結果、

1. 制度利用者が働く職場におけるマネジメント
2. 利用者のキャリア形成や仕事への意欲の維持

の2面で課題をもたらしています。本プロジェクトでは、2012年度のモデル事業として「短時間勤務制度の運用に関する実態調査」を実施し、調査結果から「企業」「職場の管理職」「制度利用者本人」のそれぞれにおいて求められることを提言としてまとめました。

⇒ http://wlb.iss.u-tokyo.ac.jp/survey_results_j.html

●地方公共団体の動き

・ワークライフバランス推進助成金を申請受付中【東京都】（2013年7月）

東京都では、都内に本社を置く従業員300人以下の中小企業等に対して、仕事と生活の両立を図るため、在宅勤務、モバイル勤務といった多様な勤務形態の実現等、ワークライフバランスの推進にかかる経費の助成制度を実施しています。（申請期間：平成25年6月20日～12月20日）

⇒ <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/josei/index.html>

・認定企業の取組内容をまとめた事例集を作成【岐阜県】(2013年7月)

岐阜県では、県内企業における仕事と家庭の両立支援の取組のレベルアップを図るため、平成23年度より「岐阜県子育て支援企業登録制度」の登録企業の中から、優良な取組や他社の模範となるオリジナルな取組を実施する企業で、県が定める認定要件を満たす企業を「岐阜県子育て支援エクセレント企業」として認定しています。このたび、「岐阜県子育て支援エクセレント企業」認定企業事例集を作成しました。

⇒

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kosodate/work-life-balance/excellent.data/23-24jirei.pdf>

・ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰候補団体募集中【兵庫県】(2013年7月)

ひょうご仕事と生活センターでは、「仕事と生活のバランス」の推進を図るため、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等の先進的な取組を実施している企業等を表彰するため、表彰候補団体を募集します。(応募締切：8月23日)

⇒ http://web.pref.hyogo.lg.jp/ie10/ie10_000000075.html

・平成25年度「職場で学ぶライフマネジメント講座」実施企業・団体募集【島根県】(2013年6月)

島根県では、これまで仕事中心になりがちだった男性の固定的性別役割分担意識の見直しや環境の整備を図ることを目的に、働く男性を対象とし、団体の希望に沿ったテーマ(ワーク・ライフ・バランス等)による本講座を実施する企業・団体を募集します。

⇒ <http://www.pref.shimane.lg.jp/danjokyodo/danjokyoudoujouhou/kenshu-koza.html>

・ワーク・ライフ・バランスリーフレットを作成【岡山県】(2013年6月)

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組むことは、企業にとって従業員の定着や優秀な人材の確保、従業員の満足度や仕事への意欲の向上につながります。岡山県では、このたび、リーフレットを作成しましたのでご案内します。ぜひ活用下さい。

⇒ <http://www.pref.okayama.jp/page/340346.html>

・ワーク・ライフ・バランス出前講座を実施【山口県】(2013年5月)

山口県では、「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指している企業等に対し、その具体的な取組を支援する出前講座を行っています。

⇒

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15900/wlb_adobaizer/suisinndemaekouz.html

・平成 25 年度ワーク・ライフ・バランス出前講座を実施【香川県】(2013 年 7 月)

香川県ではワーク・ライフ・バランスの推進に向けて取り組もうとする企業団体向けに「出前講座」を今年度初めて実施します。対象は、香川県内に事業所のある企業団体（先着 10 社）、日程は平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月末。

⇒ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/rosei/event/25demaekoza.pdf>

・ワーク・ライフ・バランス推進モデル企業を募集【佐賀県】(2013 年 7 月)

佐賀県では、ワーク・ライフ・バランスを推進する県内企業をモデル企業として選定し、モデル企業には、推進コンサルタント（社会保険労務士）を無償で派遣して、その取組を支援します。ついては、事業に参加していただけるモデル企業を募集します。（募集期限：8 月 9 日必着）

⇒ http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/_63897/work-life-valance/wlb-moderu.html

・平成 25 年度「家事男（カジダン）」川柳展の作品募集【大分県】(2013 年 6 月)

今、子育てを行うイクメンとともに、料理、洗濯、掃除等の家事に積極的な男性が「家事男（カジダン）」と呼ばれ注目されています。今年度も大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）では、「家事男（カジダン）」の日常の姿や様子を詠んだ川柳を募集し、寄せられた応募作品による川柳展を開催します。（応募期間：平成 25 年 7 月 25 日～9 月 30 日）

⇒ <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/kajidan-senryu.html>

・一斉 NO 残業 DAY！【九都県市】(2013 年 7 月)

九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）においては、子育て期にある男性の長時間労働等の課題が生じており、また、就業者の多くが各都県市の区域を越えて相互に通勤している実情があることから、共同でワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。企業・事業所や県民一人ひとりがワーク・ライフ・バランスの重要性を理解し、定時退社に取り組んでいただくため、8 月 7 日に、率先して九都県市職員の一斉定時退庁に取り組めます。

⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/koyou/worklifebalance/jisedai/9tokenshi.html>

・三世代育児支援事業を実施【神奈川県横浜市】(2013 年 7 月)

横浜市では、世代や性別を問わず地域の中で子どもに関わるきっかけづくりとして、平成 24 年度から三世代育児支援事業を実施しています。今年度は、市内 8 区で地域子育て支援拠点、区役所等との連携により「自身及び地域の孫育て」や「地域ぐるみの子育て」をテーマにした講座を実施します。

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/magosodate.html>

・よこはまグッドバランス賞【神奈川県横浜市】(2013年7月)

横浜市では、市内事業所での積極的な女性の能力活用やワーク・ライフ・バランスの推進を図るために、女性も男性も働きやすい職場づくりを進める中小事業所を、「よこはまグッドバランス賞」と認定し、その取組を広く紹介しています。(募集期間：平成25年7月1日～8月23日)

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/danjo/hyoshou/>

●イベント(開催日順に掲載)

・「家事チャレンジイベント」を開催【主催：福井県】

日時 平成25年8月4日(日) 10:00～16:00

場所 こども家族館

内容 家事を体験!スタンプラリー、親子でキッチングッズづくり、第4回家事チャレンジ検定(筆記試験)受験コーナー、第3回家事チャレンジ検定(実技試験)

対象 どなたでも参加できます。家族での参加がおすすめです。

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.fukui.jp/doc/danken/danjo/kajievent25.html>

・男女共同参画実践セミナー【主催：山口県】(同一テーマ、県内4会場にて開催)
(岩国会場)

日時 平成25年8月20日(火) 10:30～16:00

場所 シンフォニア岩国 大会議室

(下関会場)

日時 平成25年8月22日(木) 10:30～16:00

場所 海峡メッセ下関 801大会議室

(山口会場)

日時 平成25年8月26日(月) 10:30～16:00

場所 山口県教育会館 第1研修室

(周南会場)

日時 平成25年8月28日(水) 10:30～16:00

場所 周南市市民交流センター 講座室

内容 「全ての従業員の能力を活かせる企業になるためには」:解説

「先進企業の実体験から探る!!～取組の事例とポイント～」:ポイントや課題の解説および県内外の先進企業の人事労務担当者によるパネルディスカッション

講師 (有) サイズ・コミュニケーションズ代表取締役 高見真智子氏

対象 経営者、人事・労務担当者など 各会場 40名

参加費 無料

⇒ http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12800/oshirase/bosyu_seminar.html

・ワーキングマザー両立応援セミナー【主催：神奈川県】

日時 平成25年8月31日（日）13:45～15:45

場所 川崎市高津市民館 第1、第2会議室

内容 気持ちコントロール力～ポジティブな私の作り方を発見しよう！～

講師 キャリアカウンセラー、(株)キャリアバランス代表取締役 弓 ちひろ氏

対象 働くママ（育児休業中の方含む）、プレママ 35名

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7583/>

・ワークライフバランス研修会（基礎編）【主催：東京都】

日時 平成25年9月4日（水）13:30～15:30

場所 八王子労政会館2階 第1会議室

内容 「すすめよう！ワークライフバランス～働き方の見直しで企業も従業員も元気に～」

講師 (株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長 宮原淳二氏

対象 事業主、管理監督者、人事労務担当者、その他関心のある方 50名

参加費 無料

⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/hachioji_kiso.html

・第6回ワーク・ライフ・バランスカンファレンス【主催：GEM（学習院大学経済経営研究所）】

日時 平成25年9月6日（金）13:25～17:00

場所 学習院大学 目白キャンパス 西2号館2階201教室

定員 300名（先着順）

テーマ こう活用できる高年齢者～多様な働き方とワーク・ライフ・バランス

基調講演 前厚生労働省高齢・障害者雇用対策部長、

現経済産業省官房審議官（雇用・人材担当） 小川 誠氏

参加費 無料（事前登録制）

⇒ <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/works/database/info/20130906.html>

・ワークライフバランス研修会（レベルアップ編）【主催：東京都】

日時 平成25年9月6日（金）14:00～16:00

場所 江東区商工情報センター ビジネスホール

内容 パネルディスカッション「わが社の両立支援実践法」

コーディネーター 特定社会保険労務士 大西綾子氏

パネリスト (株)カブキヤ総務部長 飯島尚子氏、
Pathfine (株) 代表取締役 堀井泰博氏

対象 使用者、人事労務担当者、このテーマに関心のある方 50名

参加費 無料

⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kameido_levelup.html

・働きたい女性の再チャレンジ応援セミナー【主催：鳥取県】(3回連続講座)

(第1回)

日時 平成25年9月7日(土) 9:30~12:00

テーマ「ワタシも家族も大切に仕事と家庭の両立術」

講師 ハナムルキャリア総合研究所代表、キャリア・ディベロップメント・アドバイザー
上田晶美氏

(第2回)

日時 平成25年9月20日(金) 9:30~12:00

テーマ「再就職までに身につけたい基本の『き』」

講師 (株)桜や建築設計工房代表取締役、なにわ女性起業の会代表 来田裕子氏

(第3回)

日時 平成25年9月27日(金) 9:30~12:00

テーマ「なりたい自分を探す」

講師 P-Create 代表、キャリアコンサルタント 松下香寿美氏

ロールモデル くらしラボ代表 谷本恵美氏

場所 とりぎん文化会館

対象 県内在住の結婚、出産、育児により就業を中断している又は働き方の見直しを考えている、概ね25歳から40歳までの女性 30名(先着順)

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.tottori.lg.jp/203103.htm>

・ワークライフバランス研修会(基礎編)【主催：東京都】

日時 平成25年9月10日(火) 14:00~16:00

場所 東京都南部労政会館 第5、第6会議室

内容 「一人ひとりの能力を最大限に発揮するために~ワークライフバランスの必要性和具体的な対応策~」

講師 (独)労働政策研究・研修機構副主任研究員 池田心豪氏

対象 都内中小企業（労働者数 300 人以下）の経営者、管理職、人事労務担当者、このテーマに関心のある方 50 名

参加費 無料

⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/osaki_kiso.html

・仕事と介護が両立できる職場づくり【主催：東京都】

日時 平成 25 年 9 月 10 日（火）13:30～15:30

内容 介護を取り巻く状況／育児・介護休業法、介護保険制度等／企業における仕事と介護の両立支援の必要性

日時 平成 25 年 9 月 13 日（金）13:30～15:30

内容 仕事と介護が両立できる職場づくりのヒント

場所 （2 回とも）関戸公民館（聖蹟桜ヶ丘） 大会議室

講師 社会保険労務士 新田香織氏

対象 事業主、管理監督者、人事労務担当者、テーマに関心のある方 80 名

参加費 無料

⇒

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-hachi-000059

・奈良県キャリアアップセミナー【主催：奈良県】

（1 日目）

日時 平成 25 年 10 月 16 日（水）9:00～16:30

テーマ「仕事もプライベートも充実したワーク・ライフ・バランスを考える」

（2 日目）

日時 平成 25 年 10 月 24 日（木）9:00～16:30

テーマ「自分らしいリーダーシップらしいリーダーシップを発揮する」

（3 日目）

日時 平成 25 年 10 月 29 日（火）9:00～16:30

テーマ「仕事もプライベートも充実するためのキャリアビジョンを描く」

場所 奈良県自治研修所

講師 （株）日本マンパワー 堀田三和氏、安川志津香氏（キャリア・ディベロップ・アドバイザー）

対象 県内民間事業所、県、市町村で働く概ね 30～40 歳の女性 50 名

参加費 無料

受講申込方法 各事業所（団体）から受講者を推薦、8 月 30 日まで

⇒ <http://www.pref.nara.jp/secure/102360/careerupseminar.pdf>

.....

《統計・調査トピックス》

今月のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●子ども・子育てに関する調査【日本労働組合総連合会】(2013年6月)

連合(日本労働組合総連合会)では、結婚に対する意識や子どもを持つことの意識、子育て等について、調査を実施しました。

- ・未婚男女「結婚したい」8割、「結婚したくない」2割
- ・理想の子ども的人数「2人」43.9%が最多
- ・家庭での子育てを分担している比率 母親71.7%、父親18.2%
- ・職場が子育てをしながら働ける環境「そう思わない」男性では3人に1人以上等の結果が挙げられています。

⇒ <http://www.jtuc-rengo.or.jp/news/chousa/data/20130621.pdf>

●女性の働き方に関する調査【株式会社マイナビ】(2013年7月)

株式会社マイナビでは「女性の働き方に関する調査」を実施しました。

- ・結婚後・出産後も働き続けたい女性の割合は、6割以上で共に上昇傾向。一方、9割を超える女性が、仕事をしながらの出産・育児には「不安がある」と回答
- ・半数以上の女性が「会社内に目標としたい女性がない」と回答。女性が働きやすい環境作りのためには、女性管理職の存在を求める声も
- ・安倍首相の成長戦略「育休3年」については、長期間のブランクを不安視する声が集まる

等の結果が挙げられています。

⇒ http://www.mynavi.jp/news/2013/07/post_133.html

●育児をしながら働く女性の昇進意欲やモチベーションに関する調査【公益財団法人21世紀職業財団】(2013年7月)

本調査は、女性の昇進意欲やモチベーションに、職場環境や上司や同僚との関係、企業の育児支援制度、夫のサポートなどの要因がどのように影響するかを明らかにすることを目的に実施しました。調査結果のポイントとしては、

- ・上司のあり方が「普通」の女性の昇進意欲・モチベーションを高める
- ・女性のモチベーションを高める育児復帰のあり方

等が挙げられています。

⇒ [http://www.jiwe.or.jp/Portals/0/press%20release\(201307\).pdf](http://www.jiwe.or.jp/Portals/0/press%20release(201307).pdf)

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

かつて私の友人は、親の介護の準備のため介護関係の資格取得の勉強をしていました。普段はあまり考えたくないけれど、ある日突然、介護の問題が生じないとも限りませんよね。いざ介護の必要に迫られたときも仕事を続けられるようにするためには、介護休業等の制度や、介護保険を利用した各種サービスがあることは是非知っておきたいし、それらについて詳しく知りたいとき、どこへ問い合わせればよいのかも、できたら知っておきたいものです。そうはいつでも忙しくてあれこれ調べたりするのは大変、という方々のために、必要な情報をひとまとめにして、インターネット上から便利に入手できる方法はないかと、ただいま検討中です。(あ)

.....